

平成29年3月10日

第4学年 保護者様

横浜市立豊田小学校
校長 瀬尾 芳保

平成28年度 横浜市学習状況調査の調査結果について

本年2月（平成28年度）、横浜市学習状況調査が実施されました。その目的とするところは、

- 横浜市教育委員会は、学力向上を目指し、学習状況を生活意識などと絡めて分析的・総合的に把握すること
- 各学校は、教科指導や教育評価などの改善に生かすこと
- 児童生徒は、学力向上に向けて自己評価や自らの学習の改善などに生かすこと

となっております。個々の児童の調査結果については、本日、全校一斉に「自己確認表」と「自己確認表の見方」を各ご家庭に配布しました。これまでの学習内容の理解の状況や学習方法を振り返り、さらに意欲的に取り組めるようにご活用いただければと思います。

次に、本校児童の学習状況についてですが、市平均とともに各学年、各教科、観点別、領域通過率として調査結果がまとめられました。各学年の考察から、改善が必要とされる内容につきましては、次年度へ引き継ぎ、指導改善を図っていきます。

<よいと考えられる状況>

- 国語 ・ 慣用句の意味について理解している。
- 算数 ・ 小数の加減法などの技能は概ね定着している。
- 理科 ・ 身近なものの体積の変化について、温度変化と関連付けて考えることができる。
- 社会 ・ 日本地図での県の位置関係は理解している。

<指導及び改善が必要とされる内容>

- 国語 ・ 漢字の正しい読み書きや、文章を読み取り、要約する力が足りない。
- 算数 ・ 分度器を使って角の大きさを測定する力が弱い。
・ 既習の図形の性質について説明する力が弱い。
- 理科 ・ 気温の変化の違いから、天気の様子を考察したり、実験結果から分かったことをまとめて表現したりすることができる。
- 社会 ・ いくつかの資料から情報を読み取ることがあまりできていなかった。

学校ではこれまで以上に、子どもが興味・関心をもって取り組み、「学習が楽しい」と言えるように授業改善を図っていきたいと思います。併せて、子どもの学習環境をよりよいものにしていくために、ご家庭・地域のご協力、ご支援をよろしくお願いします。